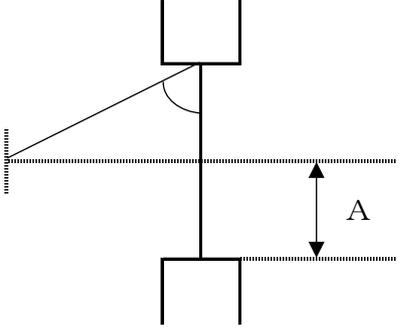
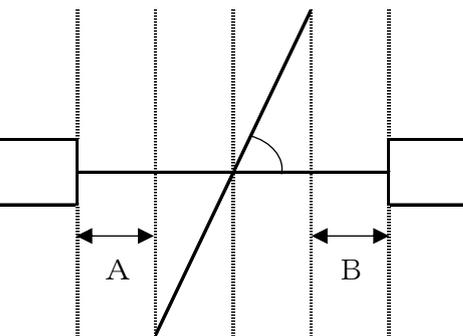
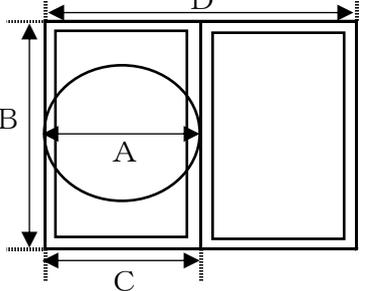
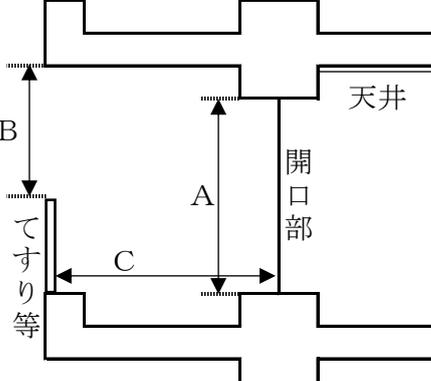


別表第4(第8条関係)

開口部の有効面積

	型 式	判 定
突き出し窓		<p>Aの部分を有効開口部とする。</p>
回転窓		<p>A及びBの部分を有効開口部とする。</p>
引き違い窓（上げ下げ窓を含む）	 <p>(注) 1 A及びB = 1 / 2 D 2 Aは、50cm及び1mの円の内接</p>	<p>開放されたB×Cを有効開口部とする。 なお、次による寸法の場合は、50cm以上の円が内接するものと同等として取扱うことができる。</p> <p>B = 1.0m (0.65m) 以上 C = 0.45m (0.4m) 以上 (注) () 内はバルコニー等がある場合</p>
外壁面にバルコニー等がある場合		<p>Aの部分を有効開口部とする。なお、Bは1m以上で手すり等の高さは1.2m以下とする。また、Cは概ね0.6m以上とする。</p>